

## 2020年6月ドミニカ共和国内政、外交、経済定期報告

在ドミニカ共和国日本国大使館

### 1 内政

#### (1) 新型コロナウイルス

ア 8日、エコノミストのネルソン・スアレスによると、新型コロナウイルス感染拡大による経済的及び財政的な影響による税収の減少と支出の増加により、赤字予算が1月から5月のGDPの1.5%に相当する700億ペソを超える可能性がある」と指摘。

イ 17日、モンタルボ大統領府大臣は段階的な経済活動再開の第二フェーズで記録された新型コロナウイルス症例数が増加したことを受け、第三フェーズへ移行するための条件が整っていないと発言。

ウ 26日、メディーナ大統領は国民に向けた演説を通じて、3月19日から継続されている非常事態宣言を6月30日に、3月20日から継続されている夜間外出禁止令を6月28日にそれぞれ終了する旨発表。

エ 30日、カルデナス厚生大臣は「全国感染事態」を宣言し、新型コロナウイルス感染症拡大抑制措置を発表。

#### (2) 総選挙

ア 19日、アビナデル現代革命党 (PRM) 大統領候補は、大規模な乗客輸送システムを構築し、民間の投資を得て、サント・ドミンゴ県のメトロ及びロープウェイの公共交通事業にモノレールを統合すると発表。

イ 22日～24日付当地「オイ」紙は、大統領選挙に関するGallup社による世論調査を発表。主要候補者の支持率は、アビナデル現代革命党 (PRM) 候補53.7%、カスティージョ・ドミニカ解放党 (PLD) 候補35.5%、フェルナンデス国民勢力党 (FP) 8.6%。

ウ 25日、アビナデル現代革命党 (PRM) 大統領候補は、12月に税率を引き上げるとともに、税収を増やすための税制改革プロジェクトを提案すると発表。また、同候補は、建設部門は農業部門同様に回復するべき主要部門であると発言。また、観光業や送金、保税区の輸出等の減少及びドルの需要が少ないことから、30億米ドルの赤字が発生すると指摘。保健衛生については400億ペソの投資を提案し、市民の安全については、より専門的で技能を持った高給の警察を配備することを約束した。

### 2 外交

(1) 2日、ダニエル・ビラン・バヨール在イスラエル大使は、サントドミンゴ・ノルテ市のドゥケサ・ゴミ処分場の産業廃棄物処分場への移行に協力を表

明。ペピン公共事業・通信大臣及びカルロス・グスマン・サント・ドミンゴ・ノルテ市長とドゥケサ・ゴミ処分場の視察を行った。

(2) 2日、Zhang Run当地中国大使は、サント・ドミンゴ自治大学 (UASD) のエマ・ポランコ学長に10,000枚のマスクを寄贈。Zhang Run大使は、中国によるUASDのドミニカ人学生を対象とした奨学金プログラムの新設の可能性についても言及。

(3) 22日、バルガス外務大臣は、2020年-2021年の2年間、カリブ諸国連合外務大臣評議会 (ACS) の議長を務めると発表した。

(4) 3日、Zhang Run当地中国大使はドミニカ (共) 科学アカデミーとの対談において、二国間の協力関係の一環として、中国によるドミニカ (共) に対するPCR検査キット、呼吸器、マスク、防護服、サーマルカメラ等の供与を強調。

(5) 4日、アラブ首長国連邦は緊急オペレーションセンター (COE) に対し、2020年のサイクロンシーズンの緊急時対応計画のためとして50万ドル (2600万ペソ) 分の機材を供与。

(6) 20日付「リスティン・ディアリオ」紙は、Zhang Run当地中国大使の寄稿文を掲載。同大使は、二国間の経済的及び商業的交流が新型コロナウイルスの大流行により大きく妨げられていると指摘。今後、中国は産業とサプライチェーンを安定させ、改革及び開発を促進すると発言。

(7) 26日付「リスティン・ディアリオ」紙は、米国の人身売買報告書にて、米国国務省が、ドミニカ (共) の裁判官、検察官、警察は人身売買罪で告発された人々の調査、特定、起訴、有罪判決に関する専門的な訓練を受けていないと指摘したと報道。ポンペオ米国国務長官は、ドミニカ (共) は人身売買の撤廃に関する最低基準を満たしていないものの、基準を満たすため努力していると指摘。2020年度人身売買報告書において、ドミニカ (共) は段階2 (監視対象国) に再分類されている。

(8) 26日、バルガス外務大臣は、食品安全へ貢献したとして国連食品農業機関 (FAO) のカルメロ・ガジャルト・ドミニカ (共) 代表を表彰。

### 3 経済

(1) 4日付「オイ」紙は、今年、2020年度に鉱業部門において26億米ドルの投資が計画されていると報道。金属及び非金属の採掘は、ドミニカ (共) の急速な経済回復に大きな役割を果たすとされ、予想される投資額は、金・銀・銅に13億ドル、ニッケル・鉄に1億9,000万米ドル、銅・亜鉛に10億ドル。

(2) 9日、中央銀行は、ドミニカ (共) の経済が2020年の1月から4月の間に7.5%減少したと報告。ホテル、バー及びレストランが最も影響を受ける一方、新型コロナウイルス感染拡大にも関わらず、保健衛生、金融サービス、農業、不動産、通信、エネルギー及び水部門は好調。

(3) 17日、中央銀行は2020年5月の海外からの家族送金額が、2019年の同月比で17.9%増加したと発表。送金額の増加は、85%が米国及びスペイン経済の部分的な再開によるもの。